

---

## C++演習 2012 -レポートについて-

---

嶋田和孝・2012/05/31

### 個人レポート

#### 紙による提出物

- ・ A4 のレポート用紙を用い, 上部をステープラでとめること.
- ・表紙には, 演習名(知能情報工学実験演習 II C++演習), 名前, 学生番号, 実験日, レポート提出日を明記すること.

レポート課題) 各種コンストラクタおよびポリモルフィズムについて, 作成したプログラム(説明に必要な部分だけでよい)とその実行結果を示し, その内容に基づき<sup>\*1</sup>, A4 用紙で 5 枚以内で説明しなさい.

テキストの丸写しはそれだけで再レポートの対象となる

#### 電子的な提出物

プログラム提出) 演習 8 ~ 10 までのうち, 実装したものを以下のフォルダに学生番号でディレクトリを作成し, コピーすること.

/home/i/shimada/Program2012-2/

例えば, 学生番号が 080001 であれば,

/home/i/shimada/Program2012-2/080001/

にコンパイルに必要なプログラム一式をコピーすること.

プログラムの先頭に学生番号および氏名を明記すること

正しくコンパイルできないおよび実行できないものは評価しない

**どの課題を実行したのかが分かるように README.txt を追加しなさい**

**中身は「課題 XX を実装しました」のような記述のみでよい.**

### 提出について

締切: 6 月 19 日 (火) : 17:00 (レポートおよびプログラム)

紙レポートの提出場所: E716 前の提出ボックス

提出されたレポートに不備があった場合, 再レポートとなる.

提出が遅れたり, 再レポート提出の際に改善が見られない場合は, 評価が「不可」となる可能性があるので注意すること.

---

<sup>\*1</sup> すなわち, 演習3や演習5の実行結果を示し, それに基づき説明すること.